

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和02年12月14日

計画の名称	大津市公共下水道事業 - 湖都大津の良好な水環境の形成(第三期)												
計画の期間	令和03年度 ~ 令和07年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	大津市												
計画の目標	琵琶湖の恵みを受け発展してきた「湖都」大津において、琵琶湖の水環境の保全を図り、安全・安心な水環境の創造と良好な下水道サービスの継続性確保のため、下水道施設の構築を推進する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	310	A	310	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3当初	R5末	R7末
1	下水道処理人口普及率を98.6%(R3当初)から98.8%(R7末)とする。 下水道処理人口普及率(%) 下水道を利用できる人口 / 行政区域内人口 : 343,550人(R2当初) (普及人口 + 整備による普及人口) / 住基人口	99%	99%	99%
2	瀬田浦クリーク水質浄化事業による植生帯の整備率を42%(R3当初)から42%(R7末)とする。 植生浄化施設整備率(%) 植生帯整備面積(m ²) / 全体計画整備面積(m ²) : 2,250m ²	42%	42%	42%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	<input type="radio"/>	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
下水道処理人口普及率は、当初目標値98.6%、中間目標値98.7%、最終目標値98.8%。瀬田浦クリーク水質浄化事業による植生浄化施設整備率は、当初目標値42.0%、中間目標値42.0%、最終目標値42.0、R7末に100%とする。														

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R03	R04	R05	R06	R07				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	大津市	直接	-	管渠(汚水)	新設	大津/藤尾処理区(単公) 汚水管の整備	汚水管渠整備 L=0.1km	大津市						7	-	-	
	A07-002	下水道	一般	大津市	直接	-	管渠(汚水)	新設	湖南中部処理区関連(流閉) 汚水管の整備	汚水管渠整備 L=0.3km、ポンプ場増設	大津市						28	-	-	
	A07-003	下水道	一般	大津市	直接	-	管渠(汚水)	新設	湖西処理区関連(流閉) 汚水管の整備	汚水管渠整備 L=6.2km	大津市						143	-	-	
	A07-004	下水道	一般	大津市	直接	-	-	新設	瀬田浦クリーク水質浄化 事業	浄化施設 L=0.6km	大津市						132	-	-	
	新世代																			
												小計						310		
												合計						310		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

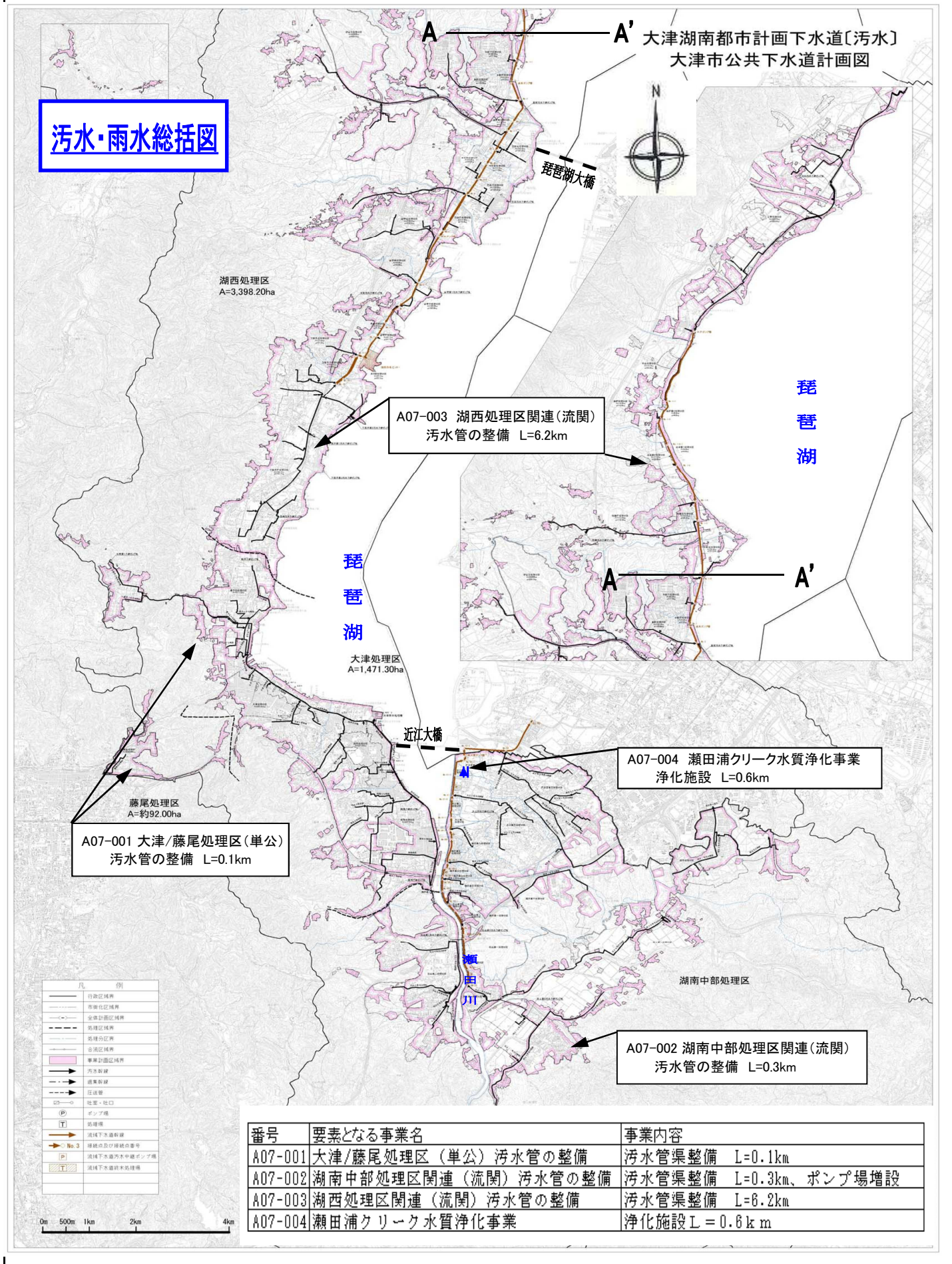
	R03	R04			
配分額 (a)	50	6			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	50	6			
前年度からの繰越額 (d)	55	21			
支払済額 (e)	84	24			
翌年度繰越額 (f)	21	3			
うち未契約繰越額(g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 大津市公共下水道事業 - 湖都大津の良好な水環境の形成(第三期)

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針（汚水処理施設整備構想、流総計画等）と適合している。	○
I. 目標の妥当性 上位計画（事業認可等）と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地元情勢の変化を踏まえている。	○
I. 目標の妥当性 社会経済情勢を捉え、適正な計画となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 費用対効果について十分に効果がある。	○
II. 計画の効果・効率性 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 供用開始区域の接続率の向上が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 地元住民の同意や要望がある。	○
III. 計画の実現可能性 事業実施のための環境整備が図られている。	○

計画の名称	大津市公共下水道事業－湖都大津の良好な水環境の形成（第三期）		
計画の期間	令和3年度 ～ 令和7年度（5年間）	交付対象	滋賀県 大津市



番号	要素となる事業名	事業内容
A07-001	大津/藤尾処理区（単公）汚水管の整備	汚水管渠整備 L=0.1km
A07-002	湖南中部処理区関連（流関）汚水管の整備	汚水管渠整備 L=0.3km、ポンプ場増設
A07-003	湖西処理区関連（流関）汚水管の整備	汚水管渠整備 L=6.2km
A07-004	瀬田浦クリーク水質浄化事業	浄化施設 L=0.6km